

科目名	子ども家庭支援論		
担当講師	西川 君代	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 30 時間・2 単位	開講学年	2 学年 後期
評価基準	筆記試験 (80%) 授業態度・提出物 (20%)		
目標	1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する 3. 子育て家庭に対する支援体制を理解する。 4. 相談援助の基本的理論の理解とともに、技法演習を通して力量を高める。 5. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と、子ども家庭支援の現状と課題について理解する。		
回	講義内容	方法	
1	子ども家庭支援の意義と必要性 (家庭の意義・離婚や再婚・親子関係・ジェノグラム)	講義	
2	子ども家庭支援の目的と機能 (養育・保護・休息・生活文化伝承)	講義	
3	子どもの発達と家族・家族の役割 (子どもの発達・親の発達・親として・子どもとしての役割)	講義	
4	保育士等による子ども家庭支援の意義と基本 (専門性を活かした支援)	講義	
5	保育士に求められる基本的態度 (子どもの育ちの喜び共有・面談の基本・面談演習①)	講義・演習	
6	家庭の状況に応じた支援 (面談演習②)	講義・演習	
7	家庭の状況に応じた支援 (面談演習③)	講義・演習	
8	家庭の状況に応じた支援 (面談演習④)	講義・演習	
9	家庭の状況に応じた支援 (面談演習⑤)	講義・演習	
10	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力 (地域資源 物・人・金)	講義	
11	子育て家庭に対する支援の体制 (子育て家庭の福祉を図るための社会資源・子育て支援施策)	講義	
12	子育て家庭に対する支援の体制 (次世代育成支援施策・男女共同参画社会・ワークライフバランス)	講義	
13	多様な支援の展開と関係機関との連携 (家庭支援の内容・対象・関係機関)	講義	
14	子ども家庭支援の内容及び現状と課題 (子どもの問題・子どもと家庭を支援する社会の機運等)	講義	
15	まとめ・テスト	テスト	
テキスト・参考書	テキスト 「児童の福祉を支える 子ども家庭支援論」 (萌文書林) 参考書 「子どもの福祉と子育て家庭支援」 (みらい)		